

## (臨床研究に関するお知らせ)

### 紀南病院に急性胆嚢炎にて入院歴のある患者さんへ

紀南病院内科では、以下の臨床研究を実施しています。ここにご案内するのは、過去の診療情報や検査データ等を振り返り解析する「後ろ向き観察研究」という臨床研究で、紀南病院倫理審査委員会の承認を得て行うものです。すでに存在する情報を利用して頂く研究ですので、対象となる患者さんに新たな検査や費用のご負担をお願いするものではありません。また、対象となる方が特定できないよう、個人情報の保護には十分な注意を払います。

この研究の対象に該当すると思われた方で、ご自身の診療情報等が利用されることを望まない場合やご質問がある場合は、下記の問い合わせ先にご連絡ください。

#### 1. 研究課題名

急性胆嚢炎に対する内視鏡的胆嚢ステント留置術と経皮経肝胆嚢ドレナージ術の有用性と安全性についての後向き比較研究

#### 2. 研究責任者

紀南病院 (職名) 内科部長 (氏名) 中野好夫

#### 3. 研究の目的

当院では急性胆嚢炎に対する内視鏡的胆嚢ステント留置術と経皮経肝胆嚢ドレナージ術の有用性と安全性について比較検討を行い、今後よりよい診療を行うことを目的として当院に入院した患者さんと対象に、臨床研究をおこなっています。

#### 4. 研究の概要

##### (1) 対象となる患者さん

2014年4月1日から2018年3月31日までの期間中に、当院において急性胆嚢炎と診断され、緊急胆嚢摘出術が困難なため胆嚢ドレナージが必要と判断された患者さん

##### (2) 利用させて頂く情報

この研究で利用させて頂くデータは、年齢、性別、基礎疾患、内服薬、血液検査データ、各種画像検査、治療内容、内視鏡的胆嚢ステント留置術と経皮経肝胆嚢ドレナージ術の治療成績等です。

##### (3) 方法

過去のカルテ情報の利用

#### 5. 個人情報の取扱い

利用する情報からは、患者さんを特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されることがありますが、その際も患者さんの個人情報が公表されることはありません。

#### 6. ご自身の情報が利用されることを望まない場合

臨床研究は医学の進歩に欠かせない学術活動ですが、患者さんには、ご自身の診療情報等が利用されることを望まない場合、これを拒否する権利があります。その場合は、下記までご連絡ください。研究対象から除外させて頂きます。なお、研究協力を拒否された場合でも、診療上の不利益を被ることは一切ありません。

#### 7. 問い合わせ先

紀南病院内科 担当医師 中野好夫

TEL : 0739-22-5000 FAX : 0739-26-0925

E-mail : ynakano★wakayama-med. ac. jp

(★を@に変換して使用してください)